

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132305		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業			担当部局・課	健康福祉部 健康福祉課			
事業内容	市内に住所を有する65歳以上の者と、60歳以上65歳未満の者であって心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者に対して、インフルエンザワクチンの接種を期間内に1回、市内の実施医療機関において、自己負担金1,000円で受けられるようにする。			事業開始(予定)年度				
				平成13年度				
				事業終了(予定)年度				
				—				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	市民の健康づくり推進					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	インフルエンザの流行の被害を受けやすい高齢者や呼吸循環器系あるいは代謝性疾患を有する者などの、いわゆるハイリスク者の発病防止・重症化防止を主な目的とする。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 予防費		
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	68,639千円	財源内訳		事業費	72,687千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市債	—			市債	—
			その他(使用料等)	14,711千円			その他(使用料等)	15,941千円
			一般財源(市税等)	53,928千円			一般財源(市税等)	56,746千円
	投入人員	0.36人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.36人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	3,084千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	3,084千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	71,723千円		経費合計	75,771千円			
	活動指標	指標名(単位)	被接種者数 (人)			計画と実績	年度	H17年度
意味・算式等		事業対象者の内、インフルエンザ予防接種を受けた者の数			区分			
					計画値		12,731	15,852
					実績値		14,926	